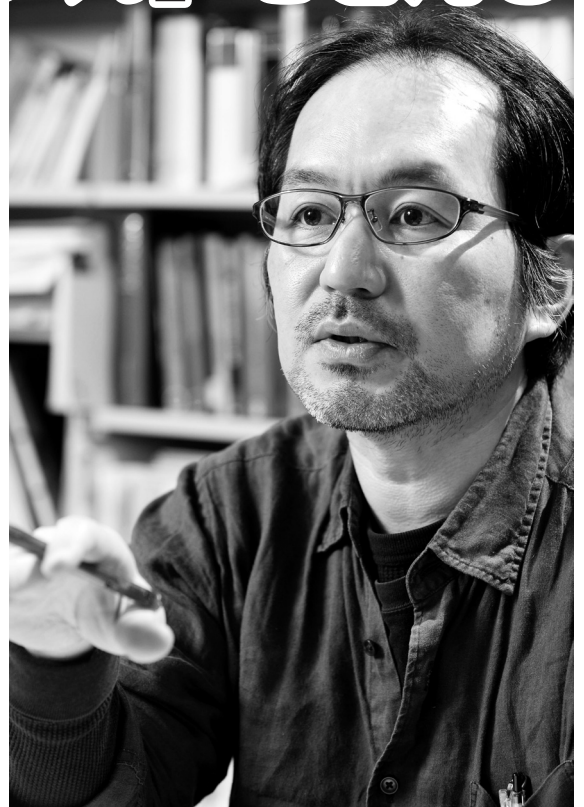




「虚構」で「究極のリアル」を考える

戦争放棄を定めた憲法を持ちながら、この国は一方の国家殺人である死刑執行を続け、多くはそれを容認、支持してきた。この欺瞞が、レイシズムが蔓延し、「戦争を欲する国」と化したこの国の荒廃の一つの根だと思う。私たちは2012年から死刑を描いた映画の上映とゲストトークを合わせたイベント「死刑映画週間」を開催してきた。映画という「虚構」で死刑という究極のリアルに向き合い、国家、社会、命について考える「場」をつくりたいとの思いだ。

国であれば、合法的に人を殺す権限を持つことが許されるのか？ 「命をもって償う」ということはありえるのか？ そもそも罪を償うとは何か？ 人間をやがてここに戻ってくる、私たちが共に生きる主体として見ないような社会の在りようを「社会」と呼べるのか——「映画週間」で上映した映像作品などに触れながら、死刑制度を取り巻くさまざまな問題について共に考えたい。



中村一成（なかむら いるそん）：フリージャーナリスト、元毎日新聞社記者。在日朝鮮人、ヘイトクライム、死刑などの社会問題に取り組む一方で、ユニークで鋭利な映画評論を多く発表している。死刑を考える京都にんじんの会のメンバーとして、2012年、2014年京都シネマで「死刑映画週間」を開催。著書に『ルポ 思想としての朝鮮籍』、『ルポ 京都朝鮮学校襲撃事件——〈ヘイトクライム〉に抗して』ともに岩波書店など多数。

●日時 2017年9月9日(土) 18:30~20:30 (18:00開場)

●参加費 1000円 申し込み不要 (先着順)

●場所 **ドーンセンター4F 大会議室1**
 (大阪府立男女共同参画・青少年センター)
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号
 TEL 06(6910)8500
 京阪「天満橋」駅、地下鉄谷町線「天満橋」駅
 出入口から東へ約350m
 JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より
 土佐堀通り沿いに西へ約550m



主催 (公益社団法人)アムネスティ・インターナショナル日本
 <お問い合わせ>アムネスティ大阪事務所 TEL: 06-6227-8991

